

# キャリア及び年令に応じて...

## 高校を卒業してから

高校などを卒業後に入学する「防衛大学校」、「防衛医科大学校」、「航空学生」、「看護学生」など。自衛隊の教育と並行して各専門分野を学ぶ。



航空学生



航空自衛隊 第12飛行教育団

高校卒業者（見込含む。）などの21歳未満の男女を対象とした海上自衛隊・航空自衛隊のパイロットなどを養成する制度。入隊後は「航空学生」として、全員が学生宿舎で規則正しい団体生活を送りながら基礎教育を受け、続いて飛行訓練を中心としたそれぞれの段階の操縦課程に進む。海上自衛隊の航空学生は山口県下関市の小月教育航空隊、航空自衛隊の航空学生は山口県防府市にある第12飛行教育団に入隊となる。



防衛大学校

将来の陸・海・空各幹部自衛官となる者の教育訓練を行う。大学設置基準に準拠した一般教育、人文・社会科学、理工学、防衛学に関する教育課程で、幹部として必要な基礎となる学力・技能を育成。また、規律ある団体生活、自衛隊の基礎的訓練、体育活動も行われており、4年間をかけて広い視野を開き、豊かな人間性を培っている。



防衛医科大学校

将来の、医師である幹部自衛官「医官」を養成。自衛隊の任務遂行に必要な医学についての高度の理論、応用についての知識と、これらに関する研究能力を修得するほか、臨床についての教育訓練を行う。医学教育だけでなく、基本教練、体育、舞台実習など自衛官としての基礎的な訓練も行われている。



看護学生



自衛隊中央病院 高等看護学院

陸上自衛官の看護師を養成する、自衛隊中央病院の付属機関。看護師の国家資格の取得を目指す。看護師になる勉強ばかりではなく、戦闘訓練、精神教育など自衛官としての基礎的教育もカリキュラムに組み込まれており、看護師免許取得後は、陸上自衛隊の看護師として全国の自衛隊病院や衛生科部隊などで勤務し、実務経験を積む。

## 一般大学を卒業後、



自衛隊幹部候補生



陸上自衛隊 幹部候補生学校

防衛大学校、一般大学などを卒業したのちに入校。陸上自衛隊の幹部自衛官として必要な知識・技能を修得するとともに、体力を錬成し、卒業後は陸上自衛隊の幹部に任官する。学校の所在地は、九州・福岡県久留米市。豊かな自然に恵まれ、情熱的で素朴、誠実かつ心身ともに強くたくましい「質実剛健」の気風に富んだ素晴らしい環境で教育を受ける。



海上自衛隊 幹部候補生学校

防衛大学校、一般大学などを卒業したのちに入校。海上自衛隊の初級幹部自衛官として必要な知識・技能を修得するとともに、体力を錬成し、卒業後は海上自衛隊の幹部に任官する。学校の所在地は、広島県江田島市。旧海軍兵学校から引き継がれてきた歴史や伝統、施設を継承し、素晴らしい教育環境の中で、スマートで目先が利き、几帳面で負けじ魂を持った隊員の育成を行っている。



航空自衛隊 幹部候補生学校

防衛大学校、一般大学などを卒業したのちに入校。航空自衛隊の幹部自衛官として必要な知識・技能を修得するとともに、体力を錬成し、卒業後は航空自衛隊の幹部に任官する。学校の所在地は、奈良県奈良市。平城宮跡北東の宇和辺古墳、小奈辺古墳に接しており、古代から天平への歴史を伝える多くの史跡に囲まれ、日本人としての感性の発展、武人としての修練の場に相応しい環境にある。



中学校卒業者(15、16歳)などを対象に採用。将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる陸上自衛官となる者を養成する。陸上自衛隊高等工科学校において学生として3年間(修了時高等学校の卒業資格取得可能)、陸上自衛官任官後、部隊等において約1年間の教育訓練を受けた後、3等陸曹となる。

## 中学校から

自衛隊各募集コースのうち、最も若い年齢で入学する陸上自衛隊高等工科学校。  
受験資格は中学校卒業者(見込む。)の15、16歳

## 18～33歳未満から

学歴などに関係なく入隊できる「一般曹候補生」、  
「自衛官候補生」。  
教育隊で教育訓練を受けた後、各部隊に配属



陸上・海上・航空自衛隊の曹となる自衛官を養成する制度。一般曹候補生は、入隊後2年9月以降選考により3曹へ昇任する。一般曹候補生は、33歳未満まで応募資格があり社会人経験を積んだ方にも広く門戸を開いている。



任期制自衛官として任官する前に自衛官候補生として必要な基礎的教育を受ける。3カ月の教育訓練の後、任期制自衛官となる。陸上自衛隊は1年9ヶ月、海上・航空自衛隊は2年9ヶ月を一任期として勤務し、任期満了後は任期継続、又は退職かを選択。

## その他のルート

医療や理工学など、専門分野で活躍。  
自衛隊に転職する「医科・歯科幹部」や、学生・社会人のまま入隊する「予備自衛官補」など。



一般の社会人や学生が予備自衛官になるための制度。医療や語学などの国家資格を持った技能公募の人は2年以内に10日間、一般公募の人は3年以内に50日間の教育訓練を受けた後、予備自衛官に任用される。



医師・歯科医師の免許取得者が対象。入隊後は幹部自衛官として、陸・海・空各部隊や自衛隊病院に医師・歯科医師として勤務するほか、研究などに携わる。



大学で理工学、心理学などを専攻し、卒業後2年以上の業務経験のある45歳未満の者が対象。入隊後は海上・航空各幹部候補生学校で幹部自衛官として必要な教育を受けたのちに専門職域で勤務する。



大学・大学院で、医学や理工学などを専攻している学生に、学資金が貸費される制度。卒業後に自衛隊に入隊し、幹部自衛官として一定年限以上勤務すると、学資金の返還が免除される。



無線などの国家資格保有者や工科系の大学・短大・高専卒(見込む。)の20歳以上の者が対象。持っている技術を生かし、海上・航空自衛隊の各部隊などで勤務する。



看護師免許を有し、保健師・助産師免許を有する36歳未満の者が対象。陸上自衛隊の看護師として全国の自衛隊病院や衛生科部隊などで勤務する。